Press Release

2024 年 12 月 5 日

製造業向け樹脂 3D プリンター EOS P3 NEXT の販売を開始

-生産性を最大 50%向上-

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズは、製造業向けの樹脂 3D プリンターである EOS P3 NEXT を 2024 年 12 月 5 日より販売開始します。SLS(注 1)(選択的レーザー焼結)技術を使用した EOS P3 NEXT は、生産性を最大 50%向上し、総所有コストを最大 30%削減可能です。また、複数の新材料の使用も可能となっており、これまで課題であった材料の再利用率を大幅に改善し、70～80%という驚異的な再利用率を実現させました。

【背景】

SLS 方式の3D プリンティング技術のパイオニアである EOS 社(注 2)は、生産性やコストといったユーザー様や市場のニーズに応えるため、EOS P3 NEXT を新機種としてラインナップしました。高度なソフトウェアアップデートやスキャンアルゴリズム、リコーター速度の向上、加熱の最適化や新しい周辺機器などによって生産プロセスを合理化し、生産性だけでなく造形品質も向上させました。

【特長】

EOS P3 NEXT は既存機種である EOS P 396 と同じ造形可能領域ですが、操作モニターを統合させたことで装置の設置面積をわずかに縮小しています。

- 生産性の向上: プレスキャン・リコーティング・冷却を高速化したことで、生産性を最大 50%向上
- 材料再使用率の向上: ALM PA 950 HD ナイロン 12 を使用した場合の再利用率は 80%、EOS PA 2220 HighReuse を使用した場合の再利用率は 70%
- コスト削減: 総所有コストが最大 30%削減
- 造形品質の向上: 柔軟なパラメータ調整機能と材料の多様性により、寸法精度・表面仕上げ・機械的特性が向上
- 操作性の向上: 生産プロセスが簡素化され、安全で効率的な操作が可能

■EOS P3 NEXT スペック

造形可能領域(xyz)	:	340×340×600(注 3) mm
レーザー	:	CO_2 70W ×1 本
スキャン速度	:	～6.0m/s
フォーカス径	:	約 480 μm

現時点で使用可能な EOS 純正材料は、PA 2200, PA 2220 HighReuse, PA 2201, PA 1101, PA 3200 GF, PA 2241 FR, ALM PA 950 HD です。

図 1. EOS P3 NEXT

【今後について】
EOS P3 NEXT は 2024 年 12 月 5 日より日本国内での販売を開始します。今後、お客様のご要望に応じて材料種の追加も行ってまいります。販売開始に伴い、EOS 社による製品説明ウェビナーが 12 月 12 日 17 時(日本標準時)に開催されます。英語での説明となりますが、ご興味のあるお客様は当社までお問合せください。

(注 1) SLS: Selective Laser Sintering 略称。粉末状の材料を高出力レーザーで照射することで、粒子を互いに焼結させ固体を形成します。
(注 2) EOS 社 HP: https://www.eos.info/
(注 3) 造形プレートを含む高さです。

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ザムテクノロジーズ 経営戦略統括部 コーポレート部 Tel: 03-6433-0577	■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ 営業統括部 マーケティング部 鈴木 里英子 Tel: 072-789-9155

―AM をものづくりのあたりまえに ＮＴＴデータ ザムテクノロジーズ―